Agriculture & Livestock Industries Corporation

エーリック
alic

2023
May
5
月号
第 77 号

理事長就任のごあいさつ
02 農畜産業および関連産業の健全な発展と国民消費生活の安定を目指して
独立行政法人農畜産業振興機構 理事長　天羽　隆

イベント情報
04 「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」に出展します

alic セミナー
05 ポーランドの牛肉産業の現状と対日輸出動向

ご案内
06 お砂糖の動画を配信しています
08 最新の情報誌から

alic ランキング
09 2022 年度，広報誌で一番読まれた記事は?

理事長就任のごあいさつ

農畜産業および関連産業の健全な発展と国民消費生活の安定を目指して

独立行政法人農畜産業振興機構
理事長　天羽　隆

令和５年４月に独立行政法人農畜産業振興機構（alic）の理事長に就任しました天羽（あもう） 隆（たかし）です。

わが国の農業総産出額の約７割を占め、国民の消費生活において不可欠な畜産物、野菜、砂糖およびでん粉の安定供給を図るため、これまでの農林水産行政などの経験を生かしつつ、尽力していく所存です。

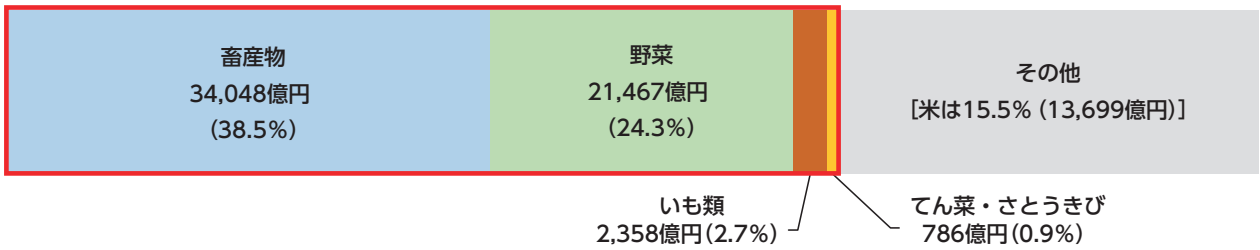
alic は、平成 15 年 10 月の発足以来、約 20 年にわたり、経営安定対策、需給調整・価格安定対策、自然災害や家畜疾病などに係る緊急対策、情報収集提供などの的確な実施を通じて、農畜産業およびその関連産業の健全な発展と国民消費生活の安定に寄与するとの使命を果たしてきたと承知しております。

alic の業務については、食料・農業・農村基本計画などの国の重要な方針においてその実施が位置付けられています。最近では、国際的な穀物需要の増加やウクライナ情勢などに伴う飼料価格の高騰などがわが国の食料や農畜産業の現場に甚大な影響を及ぼしており、alic の業務の重要性は一層増しています。また、デジタル社会の実現に向けた国の重点計画では、農業分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することとされています。

今年度から第５期中期目標期間が始まります。引き続き、内部ガバナンスの充実・強化に取り組みつつ、農畜産業をめぐる環境の変化を踏まえ、しっかりと国との連携強化を図りながら alic に求められている使命の実現に向け、役職員一同、機動的かつ効率的な業務の実施に全力で取り組んでまいります。皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（参考）農業総産出額（令和３年度）

alicの業務対象は、
畜産物、野菜、砂糖とその原料作物、いもでん粉とその原料作物
と多岐にわたっており、わが国の農業総産出額の**約66%**を占めています。



資料：農林水産省「生産農業所得統計」より推計
注１：「いも類」は、生食用とでん粉原料用いもの合計額。
注２：(　　) 内は、農業総産出額に占める構成比。

alicの取組

1　経営安定対策

生産者などの経営を支援し、安全で品質の優れた国産農畜産物が安定的に提供されるようにする業務

2　需給調整・価格安定対策

農畜産物の供給量や価格が急変動・乱高下しないようにする業務

3　緊急対策

自然災害、家畜疾病などの緊急事態に迅速に対応する業務

4　情報収集・提供

生産者の経営安定や農畜産物の需給動向の判断に資する情報を収集し提供する業務

---

alic の業務概要については、**動画「alic の業務はすべての人のために」**やホームページコンテンツ**「alic の業務はすべての人のために」**もご覧ください。

イベント情報

「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」に出展します

毎年 6 月は食育月間です。6 月 24 日(土)～ 25 日(日)に富山県富山市で開催される「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」に、alic も出展します。

alic は、「農畜産物の正しい知識を広げよう！」をテーマに、食肉、牛乳・乳製品、野菜、砂糖およびでん粉に関するパンフレット配布やパネル展示のほか、農畜産物について楽しく学べるクイズやムービー上映も行います。皆さまのお越しをお待ちしております！

第18回 食育 推進全国大会 in とやま
食で心も体も幸せに
とやまから広げるウェルビーイング

第 18 回食育推進全国大会 in とやま

日時：2023 年 6 月 24 日（土）10:00-17:00
　　2023 年 6 月 25 日（日）10:00-16:00
会場：富山産業展示館 (テクノホール)【メイン会場】
　　富山調理製菓専門学校【料理教室会場】　　※いずれも富山市
主催：農林水産省、富山県、第 18 回食育推進全国大会富山県実行委員会
主なイベント：食育をテーマとしたトークショー、クッキングステージ、
　　約 140 団体によるブース出店など

食育推進全国大会とは？

食育推進全国大会は、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する 6 月の「食育月間」における全国規模の中核的な行事で、2006 年の第 1 回大会（大阪府）以降、毎年開催されています。

前回（愛知県）大会の様子（alic ブースの展示）

当日はさとうきびの実物展示なども行い、たくさんの方々にご来場いただきました。

alicセミナー

ポーランドの牛肉産業の現状と対日輸出動向

令和５年３月10日（金）に「ポーランドの牛肉産業の現状と対日輸出動向」を調査情報部の渡辺淳一が報告しましたので、その概要を紹介します（オンライン開催）。

ポーランドの牛肉需給

ポーランドは、EUにおける主要な牛肉生産国の一つです。同国では牛肉生産量がEU第６位と多いものの国内消費量は少なく、また飼料費や人件費といった生産費が西欧諸国と比較して安価であることから価格競争力を有しています。このため、生産量に占める輸出量の割合はEUの主要牛肉生産国の中でもとりわけ高く、生産量の約７割が輸出されています。

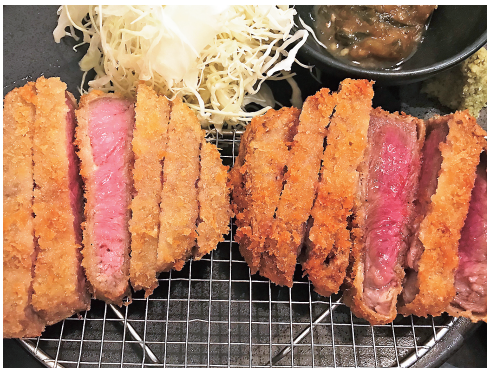
EUやポーランド政府からの支援も受け、農畜産物のブランド化に向けて、共通のロゴを制定し、オール・ポーランドとして同ロゴの使用を推奨しています。

ポーランド産農畜産物の共通ロゴ

日本向け牛肉輸出

日本へは近年、牛肉（主に冷凍）輸出量が急増しており、2021年にはEU最大の日本向け牛肉輸出国となりました。日本の輸入業者からの需要が多い部位は、タン、ハンガーステーキ（サガリ）、ブレストボーン（カタバラ）のほか、ひき肉などの原料となるトリミング肉です。

現地関係者からは、冷凍牛肉についてのさまざまな販売促進活動を継続するとともに、冷蔵牛肉についても、輸送技術の工夫とブランディングを行うことで、今後日本向け輸出を拡大していきたい、との話が聞かれました。



ポーランド産牛タンを使用した料理の例

視聴者からは、「これまで得ることがなかったポーランドの情勢で興味深かった」といった感想が寄せられました。

ご質問と回答

Q１. ポーランド産牛肉の日本国内での主要消費仕向け先は？

A１. ハンバーグや焼き肉、カツレツなどの材料として、外食などで使用されているようです。このため、主要な仕向け先としては、外食チェーンなどが多いものと考えられます。

Q２. ポーランドに牛肉のトレーサビリティの仕組みはある？

A２. ポーランド国内市場にはQMP（Quality Meat Program）という品質認証システムがあり、牛肉にも導入されています。この認証は品質を保証するとともに、該当の牛肉の履歴を追跡することが可能です。また、同国内のサプライチェーンは比較的短いため、生産者の特定は容易なようです。なお、日本に輸入されるポーランド産牛肉は、内臓も含めEVP（Export Verification Program）に基づいた追跡可能な個体識別情報が必要となります。

alicでは皆様のご意見を踏まえ、今後も情報提供に取り組んでまいります。

講演資料は、こちらからご覧ください。
参考　畜産の情報　2023年１月号「ポーランドの牛肉産業の現状と対日輸出動向」

ご案内

お砂糖の動画を配信しています

各動画は、タイトルをクリックすると再生できます！

おさとうの結晶をつくってみよう

お砂糖が透明な結晶からできていることを、ご存じでしょうか？お砂糖の不思議さが分かる実験をご紹介します。夏休みの自由研究にもオススメです！

お手軽スイーツがスティックシュガー１本で！

お砂糖を使ったスイーツは、私たちの心と体、脳の疲れを癒やしてくれます。

スティックシュガー１本でお手軽に作れるレシピを紹介します！

美しき和菓子の世界～お砂糖の奥深き魅力～

お砂糖が使われている代表的なお菓子である和菓子の魅力に迫ります。

和菓子職人にお話を伺いました。美しい和菓子が作られていく、繊細な匠の技をご堪能あれ。（協力：㈱虎屋）

知っていますか? お砂糖の歴史

お砂糖の歴史は大変古く、紀元前のインドの仏経典には、既に記述がありました。

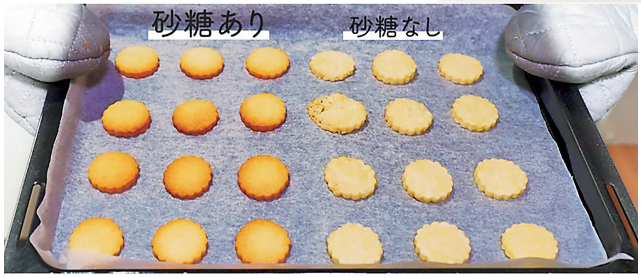
alic と一緒に、お砂糖の歴史を学びましょう！

(こんなことが学べます！)
お砂糖は、いつ日本にやってきた?
お砂糖と皇室のかかわりは?

甘いだけじゃない? お砂糖のチカラ

お砂糖は、甘さ以外にもさまざまな特徴を持ち合わせています。メレンゲの泡立ちも、ケーキの焼き色も、みんなお砂糖のチカラのおかげです。

alic と一緒に、お砂糖に秘められたチカラを学びましょう！



(こんなことが学べます！)
お砂糖と塩、どっちがお湯によく溶ける?
メイラード反応って?

シュガースクラブの使用方法や使用上の注意については、ご使用に当たって必ずご確認いただき、お顔に使用する前に、手などで試しながらお使いください。
https://sugarcharge.jp/sugapedia/scrub/

料理以外でも大活躍! お肌にイイお砂糖の使い方

お砂糖の保湿力は、お肌の化粧品として活用されています！ alic と一緒に、シュガースクラブを作ってみましょう！

(こんなことが学べます！)
お砂糖の保湿力って?
シュガースクラブってどう作るの?

独立行政法人農畜産業振興機構(alic)では、お砂糖についてもっと身近に感じて頂けるよう、お砂糖に関する動画コンテンツを制作し、YouTube により配信しています。
alic の YouTube チャンネル（alic channel）も、ぜひご登録ください。

ご案内

最新の情報誌から

alicでは、毎月、「畜産の情報」「野菜情報」「砂糖類・でん粉情報」を発行しています。
情報誌では、需給動向の解説、海外の動向、国内の優良事例などをご紹介しています。
今月号は、最新の情報誌から、注目記事をご紹介します。

「畜産の情報」 5月号（4/25 発行）

【調査・報告】から

タイトル：コロナ禍における牛肉の消費減に対する取り組みについて
～石垣牛がコロナ禍を乗り超えるために～

執 筆 者：那覇事務所 河西 真帆、調査情報部 伊藤 瑞基

新型コロナウイルス感染症の拡大により石垣島を含む沖縄県への観光客は減少し、島内流通を主とする石垣牛の消費量は大きく減少しました。こうした中、JA おきなわ八重山地区畜産振興センターなどではクラウドファンディングの実施や海外展開などにより、新たな流通・販売網の構築を進めています。本稿では、同センターをはじめとするコロナ禍における石垣牛の販売拡大に向けた取り組みについてご報告します。

「野菜情報」 5月号（4/25 発行）

【話題】から

タイトル：サラダファーストを実証～野菜をサラダで食べることの魅力～

執 筆 者：キユーピー株式会社 研究開発本部 技術ソリューション研究所 評価・解析研究部
部長　松岡 亮輔

炭水化物の前に野菜を摂取すると、食後の急激な血糖値上昇が抑制されることが報告されていますが、これについての検証を行った同社は、その作用の要因が「食物繊維」と「咀嚼（そしゃく）」にあるという研究成果を得ました。本稿では、その詳しい検証方法と研究成果をご紹介します。

「砂糖類・でん粉情報」 4月号（4/10 発行）

【話題】から

タイトル：かりゆしウェアのシェアリングサービス
サトウキビの搾りかす「バガス」を使ったアップサイクルの取り組み

執 筆 者：株式会社 BAGASSE UPCYCLE　代表取締役/CEO　小渡　晋治

アパレル業界は世界第２位の環境汚染産業とされており、大量消費・大量生産・大量廃棄のファストファッションが主流となっています。この産業課題に対し、サトウキビの製糖工程から発生する副産物「バガス」をアップサイクルすることで、アパレル業界の持続可能性を追求するスタートアップ企業の取り組みをご紹介します。

ご紹介した記事のほか、需給情報などについては各誌 web サイトをご覧ください。

alic ランキング

2022年度，広報誌で一番読まれた記事は？

2022年度（2022年4月号～2023年3月号）に発行した広報誌「alic」の記事について、alicホームページで閲覧いただいた回数をランキング形式でご紹介します。気になったタイトルは、ぜひクリックして記事をご覧ください。

2022年度　広報誌「alic」人気記事ランキング

順位	タイトル インタビュー先または執筆者	掲載号
1	【トップインタビュー】香港をはじめとするアジア圏における日本食普及の変遷 香港日本料理店協会会長/香港日本産食品等輸入拡大協議会座長　氷室 利夫氏	2022年5月号
2	【トップインタビュー】今こそ心がけたい防災備蓄 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所　国立健康・栄養研究所 国際栄養情報センター　国際災害栄養研究室　室長　笠岡（坪山）宜代　氏	2022年9月号
3	【REPORT】アメリカのお菓子のトレンドについて alic　調査情報部	2022年7月号
4	【トップインタビュー】日本の農業を支える後継者の育成　～農業高校のいま・これから～ 全国農業高等学校長協会 理事長/東京都立園芸高等学校　校長　並川 直人氏	2022年7月号
5	【寄稿】豊かな食卓に貢献する全国食肉学校 公益社団法人全国食肉学校　学校長　小原　和仁氏	2022年8月号
6	【ご案内】「令和4年度（第61回）農林水産祭（実りのフェスティバル）」に出展します alic　企画調整部	2022年10月号
7	【第一線から】豚肉の新たな価値を証明する　～食肉脂質測定装置の活用について～ alic　畜産振興部	2022年4月号
8	【alic セミナー】各国の食肉代替食品の消費動向 alic　企画調整部	2022年5月号
9	【寄稿】海外農業研修で学ぶ世界の農業 公益社団法人国際農業者交流協会	2022年12月号
10	【まめ知識】国産？輸入？ しいたけのふるさとを知る「どんぐりマーク」 alic　調査情報部	2022年6月号
11	【寄稿】酪農教育ファーム活動の歴史と変遷　～これからの酪農業を支えるために～ 一般社団法人中央酪農会議	2022年6月号
12	【トップインタビュー】広報誌10周年記念・国産農畜産物の重要性 ～いま、あらためて「食」を「食文化」にするために～ オテル・ドゥ・ミクニ　オーナーシェフ　三國 清三氏	2022年11月号
13	【寄稿】しまね流・多様な新規就農者の支援 島根県農林水産部農林水産総務課　農山漁村振興室　清水　恵氏	2022年10月号
14	【イベント情報】国産ナチュラルチーズコンテストが開催されました ～「Japan Cheese Awards 2022」と「第8回日本の銘チーズ百選」～ alic　酪農乳業部	2023年1月号
15	【業務関連情報】消費者向けの食育講座で講演 牛乳乳製品をめぐる状況 ～生乳の特性や需給の仕組み～ alic　酪農乳業部	2023年1月号

注1：2022年4月～2023年3月に閲覧された回数。ページが1回表示されるごとにカウント。
注2：各ページの記事は掲載時点の内容です。

広報誌「alic」のバックナンバーは、こちらから
広報誌「alic」のご感想や今後取り上げてほしいテーマなど、ぜひこちらからお聞かせください。

編集部から

新緑が美しく、風が心地よく感じられる季節となりました。児童生徒の皆さまは、新学期に入ってしばらく経ち、学校生活に慣れてきましたでしょうか。alic も新しい中期目標期間が始まり、本誌も横書きレイアウトにリニューアルしました。皆さまに農畜産業や食の話題や alic の業務をさらに身近に感じていただけるよう、情報発信に努めてまいります。

「alic ランキング」では、農畜産業や食に関わる分野の最前線で活躍する方々やお仕事を知っていただける記事が上位に並びました。おうち学習の機会にもぜひご覧ください。「イベント情報」では「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」についてご案内しました。今年度も農畜産物に関するパネル展示やムービー上映などをお楽しみいただければと準備を進めています。皆さまのご来場をお待ちしております。

alic では、畜産、野菜、砂糖・でん粉に関する情報や広報誌「alic」の発行についてお知らせするメールマガジンを発行しています。配信をご希望の方は、こちらからぜひご登録ください！

ご感想ご意見をお待ちしています！

今月の広報誌「alic」のご感想や今後取り上げてほしいテーマなど、ぜひこちらからお聞かせください。

情報誌のメールマガジンに広告を掲載してみませんか？
セミナーのご案内など貴社のPRに是非ご活用ください！

メールマガジン
広告募集します

原則毎月10日（砂糖類・でん粉）
と25日（畜産、野菜）の配信です。
詳細はこちらをご覧ください。
https://www.alic.go.jp/koho/mng01_000275.html

alic
エーリック

次号は2023年6月5日発行です。

掲載予定

○ REPORT
オーストラリアの温室効果ガス削減に向けた取り組み

○ alic だより
６月は食育月間・牛乳月間です

○ご案内
ベジ探を自主学習に活用してみよう！

○まめ知識
品種によって異なる「ばれいしょ」をもっと楽しもう！

※タイトルなどを変更する可能性がありますので、ご了承ください。

alic（エーリック）５月号（No. 77）
2023年5月8日発行

発行元　独立行政法人農畜産業振興機構
（alic：エーリック）
Agriculture & Livestock
Industries Corporation
〒106-8635
東京都港区麻布台 2-2-1
麻布台ビル
電　話　03-3583-8196（広報消費者課）
ＦＡＸ　03-3582-3397
ＵＲＬ　https://www.alic.go.jp/
編集/デザイン　山口北州印刷（株）

※本誌掲載記事の転載をご希望の場合は上記窓口までご相談下さい。

※バックナンバーのご案内
https://www.alic.go.jp/koho/kikaku03_000299.html

※本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。

1DAY 350g 野菜を食べよう プロジェクト
牛乳でスマイル プロジェクト
食から日本を考える。ニッポンフードシフト

alic
Agriculture & Livestock Industries Corporation
独立行政法人 農畜産業振興機構